

長野大学／信州上田学(前川クラス)2019

まちなか探検

中央西南エリア

9 班

私たちの狙いは、

新しい魅力の発見であった。

我々9班が探検した地点を一言で述べると

THE 住宅街 であった



写真のタイトル

上田高校

説明文

歴史の趣を感じさせる門構えから、最初はなんの建物だろうかと思いました。しかし近づきよくみると、なんと高校でした!!大正時代にタイムスリップしたような外観は紅葉の季節とあいまって、より日本らしさを感じることができます。せっかくならば着物で通学してみたい?!



| | |
|---------|---|
| 写真のタイトル | 飯島商店 |
| 説明文 | 上田を訪れたら、欠かすことのできないお土産を生産している場所。そうです！飯島商店です。ここは、餅と飴の間の絶妙な食感が特徴的なみすず飴の本店です。みすず飴が絶品なのはもちろん、建物も文化庁により登録有形文化財に指定されているため要チェックですよ！ |

感想

- 探検以前は上田の街を、ぱっとしない街だと考えていた。そのうえ探検を行った地点が住宅街であったことから、つまらない探検になってしまっただろうなと思っていた。しかし実際にまち探検を行ってみると、ふだんは気につけない建物の外観に感情を抱いたり、街の遊び心に気づくことができ楽しかった。

八十二銀行キャラクター



八十二銀行キャラクターの「はちの8ちゃん」と思われる人形を発見。はじめは、銀行のキャラクターとは知らず、さる?狸?と不思議でしたが、突如現れる感じが面白かったので、、、



| | |
|---------|---|
| 写真のタイトル | 坂道 |
| 説明文 | 坂道が多い上田の町。写真であまり伝わらないけど意外と急な坂で驚きました。もしかしてこの地形を利用するために、お城を建てたのか、、、 |

感想

- 大通りから一本奥に入ったエリアでの探検だったので、住宅が密集している感じの場所でした。なかなか、写真にとれるようなものがなく苦労しましたが、昔ながらの蔵が残っているお宅や、高校の門などいたるところに歴史を感じさせるような部分がありました。普段歩くことがないところだったので、いい機会だったと思います。



写真の
タイトル

上田第二中学校

説明文

これは、上田第二中学校の写真である。
外観が白と黒を基調としており、お城を彷彿とさせる。
道路を挟んだ向かい側にある上田城ともマッチしていた。



写真の
タイトル

こんなところに六文銭

説明文

この植木鉢には、六文銭が描かれている。
上田市が街全体で真田氏をアピールしているということがよくわかる。
他にも、マンホールや街灯、塀など、いたるところに
六文銭がデザインされていた。

まとめ・感想

- 市内のいたるところに六文銭がデザインされていて、市全体で真田氏を全力でアピールしていると感じた。また、その地域が昔、どんな場所であったかを説明している立て看板も多くみられた。詳しく書かれていたので、初めてその場所を訪れる人にも理解しやすいようになっているのだと思う。
- 全体的に古風な街並みだった。建物の外観も街の雰囲気にあう歴史的な風景が見られた。
- まちなか探検をしたことにより、今まで気が付かなかった上田の新しい魅力を知ることができた。

班としてのまとめ

しかし住宅街の中にも、昔は使用されていたであろう蔵が健在していたり、歴史の趣が残っている上田高校を見つけることができた。

閑静な場所ながらも、**風情を感じさせる場所**であるのが上田の街の一つの魅力ではないだろうか？